

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	株式会社 琉球の空 果実の木		
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		令和8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日		令和8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 4月 1日		令和8年 3月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 1日		令和8年 3月 31日

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動遊びの展開。 室内(サーキット=①輪っか内両足ジャンプ~② ドーン(タッチ)~③ジャンケンポン) 室外(公園活動・登山・海遊び・生き物探し)	5領域の一部を含めた活動内容の取り組み 【①②③ルール理解・①体力作り・②③人間関係の向上を促す】 果実の木以外での過ごし方やその場所のルールを知る経験を積ませていく。	・大人のアイディアとこども達のアイディアを含めた活動を一番に考えています。 思いがけない面白い発想を引き出せるように日常生活のコミュニケーションを増やす。 ・その場で出来た事を褒めて、果実以外で過ごしている姿を保護者様に積極的に伝えていく。体験を増やす。
2	宿題取り組みの習慣化=来所後は、宿題。 習慣化する事で苦手な事への抵抗が大幅減。 クッキング活動=食への興味・関心。(ピザ・クッキー)	苦手な事は、スモールステップ。小さな目標を積み上げて習慣化に移行していく。 【①宿題取り組み声掛け ②宿題のレベルと量の調整】を繰り返す。①が自主的になれば習慣化達成。 電子機器(タブレット)は落とさないように、水に濡れないように等、様々な場面を想定した危険回避を考えるようになります。	・『宿題』の苦手意識が多い傾向にありますが、逆に『運動』や『他に』苦手な事がある事も考えながら日々の申し送り情報収集を行う。 ・同世代のチーム・同世代では無いチーム、男児のみ、女児のみ等、複数のグループを経験させていく。
3	Eスポーツ(スマブラ・マリオカート・フィットネス) タブレット学習 電子機器(タブレット)の扱い。操作。	Eスポーツでは、対人との関わりで(喜怒哀楽)が存分に出来る空間となっており、気持ちの表出をテーマとしています。 電子機器(タブレット)は落とさないように、水に濡れないように等、様々な場面を想定した危険回避を考えるようになります。	物の扱いが上手になる為には、物を渡す前に意識してほしい事を伝えるようにしていく。 その行動ができた褒めて次の行動に繋がるような環境を設定していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリー化が進んでいない	バリアフリーを必要とする児童や職員がいない事から意識が低い。	バリアフリーの存在を知る。 バリアフリーが必要な場所を確認する。
2	看護師の人員がいない事から医療行為ができない	食品アレルギー対応(エピペン)を持参している児童が在籍していた事もあり、万が一の対応が必要になる事が今後も想定される。	人員の確保は、すぐには難しい為保護者様とエピペン使用について話し合いを行い、デイがどこまで協力できるのか、救急搬送が必要な状況を決めていく。
3			

公表 おける自己評価結果

事業所名	株式会社 琉球の空 果実の木
------	----------------

公表日 令和8年5月23日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		こども達の生活スペースが広くなり気持ちの整理がしやすくなったと感じています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			事務作業に追われ環境整備まで回らない時もあるが職員内で意識をしている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			目標の共通認識、振り返りの共有がもう少しほしい。

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			できれば教室内のミーティングや支援会議等で口頭で周知共有がほしい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		外部評価の仕組みと目的を調べる。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		専門研修や外部研修は学びが深くありがたい。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			共通理解を深める場や会がもう少しあってもいいかなと感じている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			共有に力をもっと入れてくれると嬉しい。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			意識はして職員間で協力はしているがもう少しゆとりを持って取り組める時間がほしい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関係機	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			

関 や 保 護 者 と の 連 携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		公認心理士さんのスーパーバイズを受けられた事は大きかった。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6			
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5	協議会の参加は分からないが連絡会の参加はできるようになりありがたい。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		昨年の夏に開催した親子参加型の活動（オイルマッサージ）は良かったと思う。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		保護者様と連携をとりながら留意して支援を行っていく。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			
--	----	--	---	--	--	--

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	株式会社 琉球の空 果実の木
------	----------------

公表日 令和8年5月23日

利用児

童数 令和8年3月31日

回収数 20

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	2		1	特に問題ないと思います。 屋内・外・十分に確保されている と思います。	ゆとりのあるスペースを保ちこども達 の活動が窮屈にならないように環境を 設定していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	3		3	日々、何名の職員が配置されているのかま では分かりません。 (本人は困っていません)	人員配置基準に準じております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている と思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリ アフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思います か。	16	2		2	設備をよく把握していませんが 訪れた時はいつも清潔な空間で不満は ありません。	空気清浄機の設置や朝の換気掃除等も 徹底しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いま すか。また、こども達の活動に合わせた空間 となっていると思いま すか。	18			2	何度か入室しましたが広さも十分に あると思いました。	どの活動も子ども達と空間の設定を行 い活動に合わせております。
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある 支援が受けられていると思いますか。	19	1			十分に特性を理解し支援して頂いて いる。本人の困り事や特性、他者トラブル に対しても毎回適切に対応していただい て	今後も対応させていただきます。

適切な支援の提供	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17			3	合っていると思います。	タイムスケジュールが崩れる事はありますが、運動・学習の取り組みはプログラム通りとなっております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20				相互に相談の上作成されていると思います。日々の報告やモニタの内容を含んで作成している。	今後もニーズを含め作成していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	2		2	家族支援がどのようなものかはよく理解できていません。 モニタ等で出た双方の意見を踏まえた計画案を細かく記載いただいています。	家族支援についてモニタリング等でご説明いたします。今後も細かく分かりやすい支援内容を実施していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	2			はい。	支援内容＝必要な支援を急に変更する事はありません。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1			努力されていると思います。 毎回、目新しい活動も見受けられるので難しいです。	日々の生活の中で子ども達のアイデアと職員のアイデアが必要です。固定化は避けていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	4	1	7	あまり積極的な印象はありません。	交流の機会は、実現させたいと考えております。怪我の責任の所在等の話を交流先の方と話を進める必要があります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	2			面談を含め時間をかけて説明していただいた記憶があります。	今後も時間をかけて説明させていただきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	1			はい。	今後も計画を示しながら支援内容の説明を行います。

保護者への説明等

14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	5		4	体験会(イベント)は聞いたことがあります但しプログラム・トレーニングの案内はあまり覚えていません。	家族参加型イベント等で情報提供を行います。
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19	1			送迎時の日々の報告がとても丁寧で有難いです。	今後も日々の報告を分かりやすくお伝えします。
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	3		2	日々の連絡帳では少し聞けています。聞いたことに対して必ず何らかの回答をいただいています。	連絡帳の活用、ありがとうございます。子育て経験のある職員から話を聞いて誰でも助言ができる体制を整えます。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19			1	情報共有も行き届いていると思います。	今後も共感的に支援を継続していきます。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	3	1	8	あまりこのようなイベントが開催されていない印象がありません。イベントが増えたらこちらとしても有難いです。	父母会の目的や在り方を話し合い実現できるような動きをしていきます。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18			2	契約書にその旨記載されていたと思います。	細かい記載情報まで目を通していただきありがとうございます。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19			1	モニタリングや送迎時に色々なアドバイスをいただいています。	実現できるアドバイスを意識し今後も発信していきます。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	3		4	おおむねできていると思います。毎月の情報誌として有難いです。HPやインスタ拝見していますがSNSより日々の活動報告に力を入れているように思います。	個人情報(顔・姿)等を配慮しながら発信させていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	1		2	問題無いかと思います。 活動記録、違う子のもの渡されていたり内容が違う子の事が書かれていたりした事がある。	鍵付きのキャビネットで個人情報を保管しております。お渡しする前に氏名の確認を行い間違いに気付けるよう意識付けしていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	3	1	7	よく聞いた事(確認した事)がありません。	各種、マニュアルがあり教室に担当がおります。会議等でご説明いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	3		8	やっていらっしゃるとは思いますが把握していません。活動報告にその旨があったと思います。	年2回、非常災害の避難訓練を行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1		6	周知されているかどうかは不明ですが安全確保は保たれていると感じます。	子ども達を受け入れる前に安全チェックを行い管理しております。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1		2	洋服で隠れたすり傷をお風呂で見つける事はありますが大きなケガを負った事はありません。	活動前・中・後に発信が苦手なお子様の表情を見る・聞き取りを行い身体の怪我チェックを行います。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19	1			いつも楽しそうです。	今後も楽しいと思ってもらえる居場所を継続させます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	1			楽しんでいる様子です。	通所の楽しみは、子ども達それぞれの理由があり人に会う。活動。休める。どれも受け止めています。

返	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1		いつも感謝しています。職員の方も楽しそう で安心できます。子へのサポート、大変な 事も多いかと思いますがとても感謝して います。専門的な知識と経験が豊富な先生 方のサポートが心強いです。	根拠のある支援を展開し、今必要な事 を楽しみながら学べる果实生活を続け ていきます。
---	----	------------------	----	---	--	---	--